

市バスへの

大型手荷物の持ち込み

スーツケースなどの大きな手荷物を市バスに持ち込まれることによって、

車椅子やベビーカーご利用の方にとって不便になったり、降りる方の通路をふさいだり

お客様が乗車できないなどの原因になっています。

次のような御意見が...!



旅行者の大きな
スーツケースが多く、
乗車するのに困りました。



観光客が大きい荷物を
持って乗ってきたので、
降りる時に苦労しました。

また、大きな荷物を持ったままの移動や観光は大変です。

京都市では「手ぶら観光」を推奨しています。

深刻な
問題です。

手ぶら観光

「手ぶら観光」？

荷物を預けたり、駅やホテルなど、次の目的地へ配送することで、
大きな荷物を持たずに観光することです。

「手ぶら観光」で、車内の混雑が低減され、
市民にとっても観光客にとっても快適な京都になります。

\\ 更に！観光客にとってはこんなメリットも！ //



歩く時も楽々

荷物を預けてストレスフリー！
まちに息づく文化や歴史を感じながら
エコな観光を楽しむ！

※観光地には坂道や段差など
キャリーケースが使いにくい場所も…！
荷物を持って宿泊先まで移動するのは
ひと苦労です。

滞在時間をフル活用

着いたらすぐに観光へ出発！
帰りも出発直前まで観光できる！



京都駅から宿泊施設まで、宿泊先から京都駅まで
荷物を運んでくれるサービスがあります。
詳しくはHANDS FREE KYOTOで♪



見える化

京都では

交通局でも検討を重ねてきました。

大型荷物の
持ち込み制限や
有料化

をするのはどうかな？



荷物の大きさの確認に時間がかかる

運行時間が伸び、便数が減少してしまう



ワンマン運転では確認困難。車掌が必要

おまけに全国的な人手不足...

車掌を配置するための経費が増加



運行時間が伸びて
便数が減ってしまう。
そのうえ経費も掛かるし、

実現は難しい...



そもそも...荷物サイズのルールは無いの？

実は、「京都市乗合自動車運送約款」というルールが存在します。ただし、「無料で持ち込むことができる」サイズを定めているのみで、そのサイズを超えた場合の対応(乗車不可や追加料金)は定めていません。中途半端なルールに思えますが、ルールを厳格に守ろうとすると、上記のような課題が生じることはもちろんですが、**市民の方が旅行や出張等で使用するキャリーバッグや、学生が部活動等で使用する大きな手荷物にも制限をかけることになり、市民の皆様の利便性も著しく低下することが考えられ、実行は困難と**考えています。

総重量 ▶ 10kg

総容積 ▶ 0.027m³(0.3メートル立方)

長さ ▶ 1メートル



こんな対策をしています。

持ち込まれてしまった
大型荷物の対策として

荷物置きスペース

を作ろう！

約 **800** 両のバスのうち約 **40** % に設置



上手に使ってもらえれば
効果が実感できる。
一方で、**座席が減ったことで
不便に感じられるお客様も...**
他の対策も考えないと！



**混雑時には、手荷物置き場をご利用いただき
快適な車内環境作りにご協力ください。**



市バスへの

大型手荷物を持ち込みはご遠慮ください



市民の方も、観光客の方も、
一人でも多くのお客様に
市バスを安全・安心・快適に
ご利用いただくため、
大型荷物持ち込みは
ご遠慮ください。

観光でご利用のお客様は、
便利な「手ぶら観光」のご利用を
おすすめします。



大きな荷物をお持ちのお客様は、
地下鉄をはじめとした
鉄道の利用をご検討ください。

手回り品は
手荷物置き場に置くなど、
車内混雑の緩和にご協力ください。

見える化(可)

最後まで読んでくれて
ありがとう

Thank you for Watching!!

市バス・地下鉄
に乗ってね!

